

(検討事項)

平成24年までに麻しんを排除するという目標に向けて取組を進めているが、目標を達成するために、今後2年間にどのような取組をすべきか

麻しんワクチン接種率の向上

- 未接種者を確実に把握し、積極的な勧奨を行うために関係者が担う役割について
 - ・行政の取組
 - ・学校との連携
 - ・医療従事者との連携

サーベイランスの強化・麻しん患者発生時の対応

- 患者の把握について
- 積極的疫学調査の実施について
- 病原体サーベイランス(検体の確保と検査診断)について

啓発

- 定期接種の対象者や養育者に対する効果的な広報のあり方について

23年度以降の取組みについて

今後の課題

- 2012年度までの残り2年で麻しん排除を達成する必要がある
- 現状としては、目標接種率95%が未達成
- 隣国の韓国は既に2006年に麻しん排除国とされている
- 修学旅行生が麻しん排除国に麻しんを持ち込むことで国際問題に繋がりがねないこと等から、総務省から海外に修学旅行に行く高校2年生に定期接種として柔軟な実施を可能とする方法について検討頂きたいとの要請



これらの課題については、次回の麻しん対策推進会議において、これまでの取組の評価・目標達成のため残り2年間に行うべきことの整理等を行う。